

令和5年度 研究発表会（高津・宮前地区）

研究テーマ 学校保健に関する効果的な校内研修（OJT）

～生徒の健康課題解決を目指して～

日 時：令和6年2月22日（木）14時開会

場 所：川崎市総合教育センター第1研修室

参加者：66名

I 研究テーマについて

各校の実態から、生徒が自分の体への興味関心が低く、自己判断できないことが課題としてあがった。また、養護教諭以外の教職員が、学校保健や健康課題への意識や、それに関する知識が十分でないと感じること、そのことから生徒の対応に不安を感じていること等が課題としてあがった。生徒と直接関わる場面が多い教職員に、学校保健についての知識と理解を深められるよう養護教諭から働きかけることが、生徒の健康課題の解決につながっていくのではないかと考えた。生徒の健康課題解決を目指し、教職員の知識や意識を向上させるために、教職員に向けた学校保健に関する校内研修（OJT）を充実させることが有効であると考えた。「学校保健に関する効果的な校内研修（OJT）」を本研究の主題とし、その方法や内容を探った。

II 研究の目的

教職員に向けた学校保健に関する OJT を計画・実施し、より効果的に教職員の学校保健への知識や意識の向上を図れるような OJT はどのようなものか探る。

III 研究の経過

令和元年度から令和2年度は教職員に向けたアプローチ方法について話し合い、令和3年度は具体的な OJT の内容について話し合った。また、各学校の教職員に向けたアンケートも実施した。令和4年度は、各グループに分かれて実践の計画を立て、令和5年度は OJT を実施し、アンケートによる評価と考察を行った。

IV 研究の内容

【緊急時対応】

「緊急性の高い傷病が発生した場合」や「生徒の生命や心身の安全を守る処置」について

- ・心肺蘇生法、エピペン、搬送についての演習型の研修、スライドを使用した研修を実施

【応急処置】

「発生した傷病に対する一般的な応急処置」について

- ・けがの手当ての仕方、過換気症候群の対応についての動画を作成し、活用した研修を実施

【生徒理解】

「メンタルヘルスに関する健康問題で配慮が必要な生徒への対応、関わり方」について

- ・自傷行為の理解と対応について、SC 等との連携やスライドを使用した研修を実施

【疾病理解】

「生徒がもつ疾病について、それに伴う個別の対応や処置」について

- ・てんかんの症状や対応等の基礎的な知識について、スライドを利用した研修を実施

V 研究のまとめ

[1] 研究の成果

今回、私たちが知りたかった「OJTの実態」を把握することができた。養護教諭はこれまでも生徒や学校の実態に合わせて様々なOJTを実施していることがわかった。また、教職員向けのOJT実態調査を行ったことで教職員が「どのようなOJTを受けたいか」「どのようなものが実際に教育活動に活かされたか」ということがわかった。

OJT実施後のアンケートでは、知識や対応力、今後役に立ちそうと答えた人が多く、資質能力の向上につながったと答えた人が7割以上だった。実態調査からニーズの高い内容のOJTを設定したことで意識をもって参加することができ、効果的なOJTにつながったと考えられる。また、今まで行ってきたOJTのノウハウを活かしながらグループごとに検討を重ね、ロールプレイや動画資料を取り入れICTを活用する等、手立てを工夫したことで受講者が意識をもって参加し、今後役に立ちそうだと感じることもできたと考えられる。

さらに、受講した教職員がOJTの内容を自分に関わることとして捉えていたと感じた。単に知識が身についたというだけでなく、具体的な場面を想定しながら対応について質問が出たり、連携のシステム作りについて話し合ったり、教職員の学校保健への意識の変化があったことも成果といえる。



[2] 研究の課題

時間確保の難しさは地区での課題としてあがった。必要なOJTが多くある中で、実態に合わせて内容を精査し、ニーズに合わせたミニ研修を企画したり、年間計画に位置付ける等、分掌の機能を活用してOJTの場を設けることが求められる。今回は研修型の形態でOJTを実施したが、今後は随時実施型や配付物利用型を組み合わせる等、形態を工夫することで時間の確保の問題に対応でき、さらに効果的に実施できると考える。

今回、OJTの効果として、知識や対応力、意識や有用性についてアンケートでの質問により測定をしたが、特に緊急時の対応やてんかんの対応については、実際に対応する場面でOJTの正確な効果が表れると考えられる。実際に対応する場面になった時に、助言や課題を共有したり、折に触れてOJTの内容を確認する場を設けることで、養護教諭も受講した教職員もOJTの効果を感じられたり、職場全体でさらに理解を深めることができると考えられる。

研究を通して、OJTは学校全体のレベルアップを図るものであり、学校運営において欠かせない要素であることを再確認した。日々速度を増していく大きな時代の変化において、実態に合わせてOJTを更新していく必要があり、また、継続していくことが重要である。今回研究したOJTの内容が、生徒の健康課題解決につながっていくと考えられる。

